

## 『スマートフォン』

28

スマートフォンは毎日の生活に欠かせないものとなり、だれもが当たり前のように使うものとなりました。近年は小学生全体での所有率も増加しており、内閣府の調査では、2019年時点で45.9%に達しています。

また、1日の平均利用時間は、小学生で68.3分、中学生で127.5分、高校生で177.7分となっています。

近年では、近距離でスマートフォンを使用することによる、目が突然内側に寄ってしまう、こどもの急性内斜視という病気が増加していると言われています。急性内斜視の原因は、はつきりしておらず、片眼を隠すことにより両眼視機能が遮断されて起こるものと、ストレスによって起こるものがあると考えられています。



こどもは、この調節および輻輳の機能が未発達であり、異常を引き起こしやすいと考えられます。読書では起こらないことから、近距離で動画やゲームを見ることで起

るのではないかとされていますので、スマートフォン使用中に物が2つに見えたり、眼が内側に寄ってきたように感じたら、すぐに眼科を受診しましょう。

新型コロナウイルスの影響により自宅にいる時間が増えていることで、普段よりスマートフォンを利用する時間が増えてしまいかもれません。周りの大人も一緒に注意しましょう。

担当薬剤師 渡邊 隼太  
問い合わせ ☎ 047・360・3600 一般社団法人松戸市薬剤師会



認知症や免疫疾患に力を入れています

ファーコス薬局 イルカ  
柏市柏4-6-25 YKビル1F  
☎ 04・7160・4477  
<https://www.pfercos.co.jp/>

